

沿岸各地の水温

日本海 11℃台
陸奥湾 7～9℃台

(4月26～30日)

津軽海峡 9～10℃台
太平洋 6～8℃台

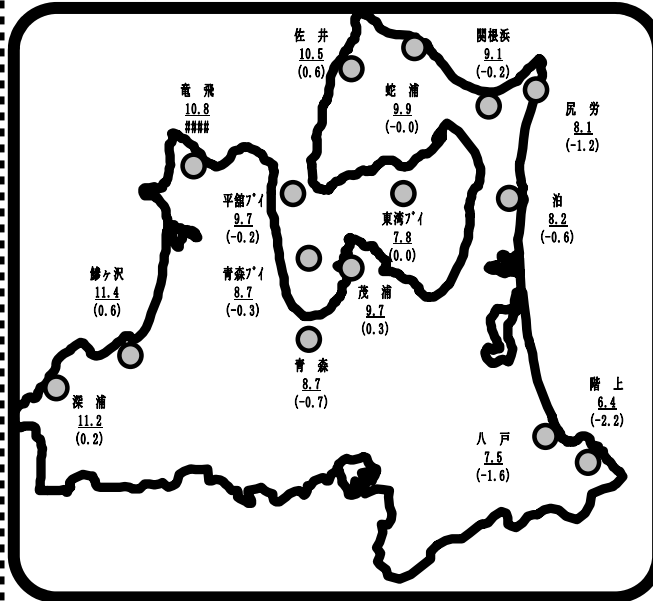


図 定地水温 (4月26～30日)
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	11.2	+0.2	-1.0	+0.0
鱒ヶ沢	11.4	+0.6	-0.5	+0.0
竜飛	10.8	+0.4	+0.7	+0.5
佐井	10.5	+0.6	-0.0	+0.3
青森	8.7	-0.7	-0.7	-0.5
蛇浦	9.9	-0.0	-0.7	-0.4
関根浜	9.1	-0.2	-0.6	-0.0
尻労	8.1	-1.2	-2.2	+0.4
泊	8.2	-0.6	-1.2	+0.1
八戸	7.5	-1.6	-1.4	-0.2
階上	6.4	-2.2	-2.9	-1.0
茂浦	9.7	+0.3	-0.3	-0.2
平館ブイ	9.7	-0.2	-0.5	+0.5
青森ブイ	8.7	-0.3	-0.2	-0.4
東湾ブイ	7.8	+0.0	+0.4	+0.3
平均	9.2	-0.3	-0.7	-0.0

今回は日本海及び関根浜では変わらず、津軽海峡西側、太平洋北側では昇温し、他の地域では降温しました。平均前回差は-0.0度となっています。

昨年と比べると、日本海側で-0.8度、津軽海峡側で-0.2度、陸奥湾内で-0.3度、太平洋で-1.9度となっており、平均昨年差は-0.8度となっています。

平年と比べると、日本海・津軽海峡・陸奥湾で平年並み、太平洋ではかなり低めとなっており、平均平年差は-0.3度となっています。

◎青森県海面漁業漁獲状況調査月報 (平成20年2月) の概要 (資料：県水産振興課)

○平成20年2月中の本県の漁獲数量は12,808トン、漁獲金額は34億5,727万円でした。前年同月と比べると、漁獲数量が4,787トン(前年同月比：59.7%)増、漁獲金額が10億8,993万円(比：46.0%)増となりました。

○あかいか(近海)の漁獲数量は4,114トンで前年同月比3,947トン(2368.3%)増、漁獲金額は10億9,523万円(前年同月比10億3,856万円(1,832.6%)増という結果でした。

○あかいか(海外)の漁獲数量は1,627トンで前年同月比813トン(99.9%)増、漁獲金額は2億1,029万円(前年同月比1億2,089万円(135.2%)増という結果でした。

○ほたてがい(成貝)の漁獲数量は3,033トンで前年同月比413トン(15.8%)増、漁獲金額は2億7,206万円(前年同月比8,205万円(△23.2%)減となりました。

◎平成20年度第1回日本海スルメイカ長期漁海況予報

(2008年5月～7月までの見通し)

4月28日、標記の予報が水産庁((独)水産総合研究センター日本海区水産研究所)からプレスリリースされました。

対象海域：日本海 対象漁業：主にいか釣り漁業 対象魚群：主に秋季発生系群

(1) 来遊量：近年平均並み(昨年を上回る)。ただし、5月の山陰では近年平均を下回る。

(2) 漁期・漁場：北上が早く、漁期の経過は早い。

(3) 魚体の大きさ：近年平均並み。山陰では大型が少ない。

※ 詳しくは水産庁ホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>) 及び(独)日本海区水産研究所ホームページ (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>) に掲載しています。

◎スルメイカ漁場形成早期予報手法開発結果

4月13日から21日にかけて、開運丸により能登周辺海域及び隠岐島周辺海域の調査を実施しました。(図1)

能登北方海域で、CPUEは0.04～0.32尾/時/台(昨年0.05～1.36尾/時/台)、隠岐島周辺海域で、CPUEは0.02～0.71尾/時/台(昨年0.58～0.71尾/時/台)となり、昨年と比較して少ない数でした。また、この時期の日本海の水温は全体的に平年より約1℃低い状況でした。

この結果は日本海区水産研究所のスルメイカ漁況予測(西日本の漁況は「4月～5月は低調」とほぼ一致しています。

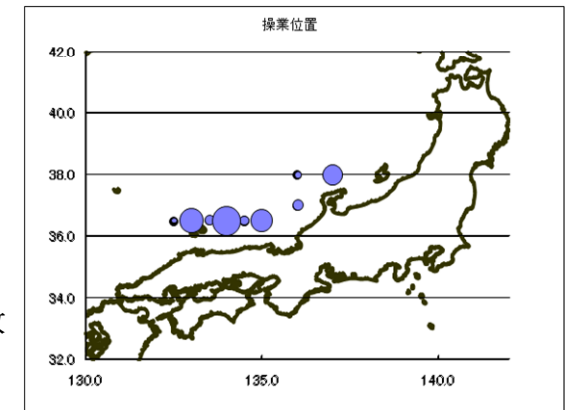


図1 開運丸調査による4月のスルメイカ分布状況